

平成25年度 理数系女子進路選択支援プログラム  
理数系女子教育シンポジウム  
「理数系女子を探る～女子中高生は、数学・物理が得意か～」

近年、女子の理数系志望者及び大学院まで進学する優秀な女子が増加しています。このような理数系志望の女子中高生の進路選択を支援する目的で、東京農工大学では各種のプログラムを実施します。東京農工大学は、理系の大学としては全国1・2を争うほど女子比率が高く、今年度は全学で28%が女子です。昨年度の本学の進路調査では、工学部は男子の79%を超え、81%の女子が大学院に進学しました。

理系の中では、機械や電気電子、情報、物理などの分野は比較的女性の進出が遅れている分野です。これらの分野では、数学・物理などの教科が必要とされています。高校生で学習するこれら科目の女子の履修・学習状況などについて、中・高等学校の教員・大学教員・保護者（中・高等学校の女子学生も参加可能）に参加いただき、高校の現状報告と共に大学での教育も含め討論したいと思います。ご参加をお待ちしております。

記

- I 日時 10月19日（土）14：00～17：00  
II 場所 東京農工大学小金井キャンパス（工学部） 中央棟 5階 大会議室  
III 対象 中・高等学校教員・大学教員・保護者 ※中・高等学校の女子学生も参加可能  
IV 理数系女子教育シンポジウム

「理数系女子を探る～女子中学生・高校生は、数学・物理が得意か～」

1. 基調講演

「大学における物理教育」 東京農工大学物理システム工学科教授 三沢 和彦

2. 現状報告

- (1) 「大学の数学教育と理数系女子教育」 東京農工大学有機材料化学科講師 畠中 英里  
(2) 「高等学校の数学教育と理数系女子教育」 東京都立西高等学校主幹教諭 寺島 求  
(3) 「高等学校の物理教育と理数系女子教育」 東京都立駒場高等学校教諭 村田 律子

3. 討議